

卓話資料 『2015・2016年度版  
ロータリー財団月間卓話（R財団と補助金説明他）』

① ○ロータリー財団とは

標語は、「世界でよいことをしよう」(Doing good in the world)。その使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

このロータリー財団は、1917年6人目RI会長のアーチ・クランプが「世界でよいことをするために、ロータリーに基金を作ろう」と提案して始めました。「最初26ドル50セントで始まったR財団基金は約100年間で純資産合計10億9,270万ドル超（2013-2014年度）に大きく成長しました。」ところが同時に様々な問題を抱えるようになりました。

特に10数年前からR財団は相当な数のマッチング・グラントを処理するようになりました。これはロータリアンがR財団の人道的プログラムの価値を大きく評価するようになったからです。しかし増えた提出書類の処理に多大な時間と経費を費やすようになりました。R財団は会計・コンサルティングを専門とする会社に調査を依頼。結果は今のプログラムのモデルでは長期的な成功が望めないとの結論に達しました。これを受けR財団管理委員会は未来の夢委員会をつくりプロジェクトの見直しに取掛りました。これが「未来の夢計画」(フューチャー・ビジョン)の始まりでした。

「未来の夢計画」の目的は、プログラムと運営を簡素化すること、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること、世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること、意思決定権を今まで以上に地区に移行することで、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること、ロータリーの公共イメージを高めることの5項目です。

岡田ガバナーは、RI会長・ラビンドラン氏のテーマ「Be a gift to the world」(世界へのプレゼントになろう)、そして挨拶での「私たちに与えられた時は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。」との言葉に感動、共感され、地区テーマを「過去、現在・今、行動するロータリアン」～会長賞に挑戦しよう～とされました。その会長賞にもロータリー財団寄付の推進が掲げられています。

○ロータリー財団寄付の種類

ロータリー財団への寄付は、年次基金、恒久基金、使途指定の3種類に分けられます。

年次基金寄付は、EREY (Every Rotarian Every Year)、日本では「毎年あなたも150ドル(現在日本全34地区年次基金寄付目標額)を」と言われる寄付です。(当地区では一昨年度から毎年の目標額を150ドルとお願いしています。)この寄付は3年周期で投資運用されます。3年後、寄付を全ロータリークラブが参加できるロータリー財団の活動のために財団が活用する国際財団活動資金(WF)とクラブまたは地区が財団の補助金及び活動に参加するための地区活動資金(DDF)に50%ずつ分けられます。つまり今年度年次基金寄付としての寄付金額の50%が、恒久基金の運用益

と一緒に3年後に地区に戻ってきます。

恒久基金寄付は、国際ロータリーのロータリー財団が寄付された元本には手を付けずに投資運用して、その収益を活動資金として分配しています。

使途指定寄付は、使い道を指定して寄付します。例えば今のポリオ撲滅に対する寄付がそれに当たります。

#### ○ロータリー財団補助金の種類

補助金の種類とその内容については、補助金は、地区補助金 (DG)、グローバル補助金 (GG)、パッケージ・グラント (PG) の3本立てです。

地区補助金は、該当する寄付年度の地区財団活動資金 (DDF) の50%を地区の裁量でクラブまたは地区が行う以下の事業に使えるものです。

人道的プロジェクト：地元や海外の奉仕プロジェクト・奉仕のための渡航・災害救援活動

職業研修チーム：①共同提唱や海外クラブ・地区との協力といった要件が無い  
②チームの人数や研修期間に制限がない。  
③チームは研修を提供することも、受けることもできる。）

奨学金：①レベルは（高校・大学・大学院）・期間・場所（国内あるいは海外）・専攻分野に関する制限がない  
②奨学金の額に制限がない

※地区では地区補助金について独自の基準と管理運営手続きが必要として地区補助金支給基準が設定されています。

グローバル補助金は、残りの50%を重点分野6項目（①平和と紛争予防／紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展）に当てはまる事業に使えるものです。

「未来の夢計画」スタート時点にはパッケージ・グラントがありました。R財団が選んだ協力組織と提携して活動する事業に使われるものでしたが、2014年4月の管理委員会で廃止が決定しています。

#### ○ロータリー財団補助金を使うには

地区内クラブがよく使う地区補助金の申請スケジュールは、例えば2016~2017年度事業を行う場合、2015~2016年度の10~11月に覚書 (MOU) を地区と交わし、12~1月に事業を申請しなければなりません。このように前の年度からの動きとなるので計画立てていかなければなりません。グローバル補助金はいつでも申請できます。

覚書 (MOU) はロータリー財団補助金使用事業計画が無いクラブでも交わしておくことが大切です。

○ロータリー財団補助金を使った活動には  
別紙参照

○ロータリー財団補助金を使ったクラブの行うこととは

ロータリー財団補助金を使った事業を行ったクラブは、積極的に事業の成果やロータリー財団補助金を使って出来たことを広報してください。未だロータリー財団補助金を使ったことの無いクラブがこの補助金を使ってみようとして欲しいのです。またロータリー以外の方々から、「このようなことに使えないだろうか」と提案があるかもしれません。

ロータリー財団は、せっかく皆さんからいただいた寄付を少しでも多く有効に使われることを願っています。

○PHS（ポールハリス・ソサエティ）へのお誘い

本年度からロータリー財団の公式プログラムになりました PHS（ポールハリス・ソサエティ）への参加をお願いします。これは EREY（毎年 100 ドルとか 150 ドル、いやいや 200 ドルと言っていますが）は既にロータリアンとしては当たり前で、毎年 1,000 ドル寄付するプログラムです。実は毎年 1,000 ドル寄付いただく方は全体の 5% ですが、その方々の寄付が年次寄付の 35% に相当しています。この財源は「世界で良いことをしよう」というロータリー財団の目的達成に大きな貢献をしています。今後、機会あるたびに PHS 会員を讃える催しは増えると思われれます。例えば地区大会で PHS 会員には特別な会合が持たれるなどです。このソサエティにお入りいただきますと PHS の特別なピンと認証状が届きます。年間 1,000 ドルの支払にはいろいろな方法があります。ぜひお入りいただきたいと思ひます。お問合せや詳しい入会方法につきましては地区事務所にご連絡をいただければ幸いです。

## 第2630地区補助金募集要項および規定

2015年10月改定

ロータリー財団への寄付は、シェアシステムと呼ばれる仕組みを通じて、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動を支える補助金に生まれ変わります。

地区内のクラブからの年次基金(シェア)への寄付は、ロータリー年度末に、国際財団活動資金(WF)とDDF(地区財団活動資金)に分けられます。

地区は、寄付の3年後にこのDDFをクラブや地区、または財団のプロジェクトのために活用できます。DDFの半分までをDG(地区補助金)として使用でき、残りをグローバル補助金(GD)の申請、ポリオプラスやロータリー平和センターの支援、ほかの地区への寄贈のために使うことができます。

### EREY 達成率による算出

第2630地区では、各クラブの3年前の1人当たりの年次寄付金の額から算出した支給限度額を基準とします。

算出基準は一人当たり寄付金額100ドルを100%としたEREY達成率です。

クラブ拠出金と補助金支給額の合計がクラブ事業予算になります。

#### □ EREY 100ドル未満

クラブ拠出金	1,000ドル以上
補助金支給額	クラブ拠出金 X EREY 達成率
補助金支給限度額	2,000ドル

#### □ EREY 100ドル以上 150ドル未満

クラブ拠出金	1,000ドル以上
補助金支給額	クラブ拠出金 X EREY 達成率 × 1.5
補助金支給限度額	5,000ドル

#### □ EREY 150ドル以上

クラブ拠出金	下制限なし
補助金支給額	クラブ拠出金 X EREY 達成率 × 2.0
補助金支給限度額	10,000ドル

□ EREY 0ドルのクラブは、参加資格がありません。

用語	DDF District Designated Fund	地区財団活動資金
	WF World Fund	国際財団活動資金
	DG District Grants	ロータリー財団地区補助金
	GG Global Grants	グローバル補助金
	EREY Every Rotarian, Every Year	毎年一人150ドルを

### 申請事業の1次審査と申請受付期間について

申請受付は先着順ではなく、受付期間内に申請されたものを下記の項目で地区財団委員会により審査されます。

補助金授与と受託の条件に未達の場合は不採用になります。

また地区審査で不採用になる場合もあります。

#### 審査項目 5段階評価方式

- 1 ロータリー財団の使命への適合性
- 2 プロジェクトの実現性と見通し
- 3 進行中のプロジェクトかどうか？
- 4 毎年実施の奨学金授与のように対象を変えただけの事業か
- 5 ローリアンの参加度
- 6 事業の創造性
- 7 総合的評価

### 補助金の総額について

地区全体での補助金の総額には限度があります。

各クラブからの申請金額の総計が予算額を超えた場合の対処については、「寄付額による総額調整方式」を2016-2017実施年度より採用します。

- ① 占有偏差値 申請クラブの補助金申請額の偏差値
- ② 寄与偏差値 地区内すべてのクラブの年次寄付金の偏差値
- ③ 申請クラブの(寄与偏差値－占有偏差値)のマイナス値を合計する。  
マイナス分が過剰申請額を意味する。
- ④ 減額ポイント (地区補助金不足分÷マイナス値合計)
- ⑤ 減額金額の算出 (申請額×減額ポイント)
- ⑥ 支給補助金額の決定 (申請金額－減額金額)

**補助金事業の立案にあたって**

「地区補助金とグローバル補助金授与と受託の条件」を満たすこと。

受領資格の指針（抜粋）

財団の補助金を活用するすべての活動は、以下に該当しなければならない。

ロータリー財団の使命に関連していること。

ロータリアンが積極的に参加すること。

実施地の伝統と文化に配慮する姿勢を示すこと。

**2016-17 年度実施補助金事業総額について**

補助金事業実施年度	2015-2016 年度実績	2016-2017 年度
申請クラブ数	25(1 件の奨学金)	
補助金総額	\$94,600	\$100,000(概算)
補助金使用額	\$73,922	
奨学金	\$20,000	
最終補助金額	\$93,922	
	(11,854,394 円)	

**2016-2017 年度実施補助金申請スケジュール(予定)**

資金管理セミナー	2015 年 10 月 17 日
申請書書式決定	2015 年 10 月 31 日
地区クラブ MOU 締結期限	2015 年 11 月 30 日
申請書提出	2015 年 12 月 1 日～2016 年 1 月 30 日
修正依頼	2016 年 2 月 10 日
修正申請提出限	2016 年 2 月 29 日
申請審査	2016 年 3 月 7 日～25 日
奨学生募集開始予定	2016 年 3 月 15 日～31 日
ガバナー承認	2016 年 4 月 1 日～15 日
申請審査報告・口座開設依頼	2016 年 4 月 25 日～5 月 15 日
TRF へ申請・承認 2	2016 年 5 月 20 日
補助金送金	2016 年 8 月
プロジェクト実施期間	2016 年 7 月～2017 年 3 月
プロジェクト報告書提出期限	2017 年 4 月 10 日
最終報告書を TRF へ提出	2017 年 5 月

終 了